

学生募集要項



2023

令和4年10月入学

【総合型入試】

【一般入試】(A日程)

【社会人特別入試】(A日程)

令和5年4月入学

【総合型入試】

【推薦入試】

【一般入試】(A日程)

【社会人特別入試】(A日程)

大学院 持続可能社会創成学環

(修士課程)

●社会データサイエンスプログラム

●グローバルSDGsプログラム

令和4年5月

富山大学

新型コロナウイルスの感染拡大等の不測の事態により、試験日程等本学生募集要項の内容を変更する場合があります。変更する必要がある場合は、本学ウェブサイトでお知らせいたしますので、最新の情報を確認するよう留意してください。

<https://www.u-toyama.ac.jp>

目 次

大学院持続可能社会創成学環（修士課程）入学者選抜の概要	1
大学院持続可能社会創成学環（修士課程）入学者受入れの方針 （アドミッション・ポリシー）	2
I 総合型入試	3
II 推薦入試	5
III 一般入試	7
IV 社会人特別入試	9
共通事項	
1. 出願期間	11
2. 出願手続	11
3. 出願資格認定申請について	13
4. 入学検定料の納付方法	14
5. 受験票の送付	15
6. 合格者発表	15
7. 入学手続	15
8. 注意事項	16
9. 安全保障輸出管理について	16
10. 障害を有する入学志願者の事前相談	16
11. 志願者の個人情報保護について	17
12. 大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例措置について	17
新型コロナウイルス感染症対策に伴う入学志願者への要請事項	18
富山大学大学院持続可能社会創成学環（修士課程）案内	19

大学院持続可能社会創成学環（修士課程）入学者選抜の概要

募集人員

プログラム名	区 分	募集人員
社会データサイエンスプログラム	総合型入試	8人
グローバルSDGsプログラム	推薦入試	若干名
	一般入試	(A日程) 8人 (B日程) 2人
	社会人特別入試	(A日程) 若干名 (B日程) 若干名
合 計		18人

※1 本学環の定員は、大学院人文社会芸術総合研究科人文社会芸術総合専攻の定員8人及び大学院理工学研究科理工学専攻の定員10人を活用しています。

※2 募集人員には推薦入試【外国人留学生】の募集人員を含みます。

入学試験関係日程

・社会データサイエンスプログラム

試験区分	出願期間	試験日	合格発表日
総合型入試	令和4年 6月1日(水) ～ 6月7日(火)	令和4年 7月2日(土)	令和4年 7月19日(火)

※ 総合型入試については、募集人員の充足状況により2次募集を行う場合があります。詳細については令和4年11月頃公表します。

・グローバルSDGsプログラム

試験区分	出願期間	試験日	合格発表日
推薦入試	令和4年 6月1日(水) ～ 6月7日(火)	令和4年 7月2日(土)	令和4年 7月19日(火)
一般入試(A日程)			
社会人特別入試(A日程)			
一般入試(B日程)	令和4年 12月下旬(予定)	令和5年 2月上旬(予定)	令和5年 2月中旬(予定)
社会人特別入試(B日程)			

※ B日程においては、令和5年(2023年)10月入学対象の推薦入試【外国人留学生】も実施します。学生募集要項は令和4年11月頃公表予定です。

大学院持続可能社会創成学環（修士課程）
入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【入学者受入れの方針】

持続可能社会創成学環は、データサイエンスやサステナビリティ学など持続可能社会に関連する学問分野に強い関心と基礎的能力を有し、将来、高度専門職業人として持続可能社会の実現に貢献する意欲のある学生を求めます。

○社会データサイエンスプログラム

社会データサイエンスプログラムは、基礎的能力及びデータサイエンス・AIの強い学修意欲をもち、将来、専門知識と技術を活かして持続可能社会の実現に貢献する意欲のある学生を求めます。

○グローバルSDGsプログラム

グローバルSDGsプログラムは、サステナビリティ学に強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして持続可能社会の構築に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生を求めます。

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

・総合型入試

研究計画及び履修計画についてのプレゼンテーション、個人面接、グループディスカッションを課し、学士課程までに修得した知識、研究課題及びその解決に必要な知識・スキルを設定する能力、コミュニケーション力、論理的思考力を総合的に評価する。

・一般入試

口述試験及び出願書類（学業成績証明書、外部英語試験など）等を総合して評価する。

・推薦入試

面接（学力に関する口頭試問を含む）及び出願書類等を総合して評価する。

・社会人特別入試

面接（学力に関する口頭試問を含む）及び出願書類等を総合して評価する。

I 総合型入試

1. 募集人員

プログラム名	募集人員	
	令和4年10月入学	令和5年4月入学
社会データサイエンスプログラム	若干名	8人

2. 出願資格

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び入学希望月の前月末日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び入学希望月の前月末日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における16年の課程を修了した者及び入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学希望月の前月末日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 入学希望月の前月末日現在で大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学環において認められた者

(10) 大学卒業までに 16 年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって次の二つの条件を満たし、かつ本学環において、我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

a. 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね 1 年以上研究に従事した者及び入学希望月の前月末日までにおおむね 1 年以上研究に従事する見込みの者

b. 入学希望月の前月末日までに 22 歳に達する者

(11) 本学環において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学希望月の前月末日までに 22 歳に達する者

(注) 出願資格 (9), (10) 又は (11) により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査が必要となりますので、13 ページ「3. 出願資格認定申請について」を参照してください。

3. 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、研究計画及び履修計画についてのプレゼンテーション、面接、グループディスカッションを課し、学士課程までに修得した知識、研究課題及びその解決に必要な知識・スキルを設定する能力、コミュニケーション力、論理的思考力を総合的に評価します。

(2) 試験場所 富山大学五福キャンパス (富山市五福 3190)

試験場所の詳細は、受験票発送時に通知します。

(3) 試験期日及び試験科目

期 日	時 間	試験科目等
令和 4 年 7 月 2 日 (土)	9 : 3 0 ~	グループディスカッション
	1 3 : 3 0 ^(※) ~	プレゼンテーション及び面接

※ 志願者数等により、開始時間を変更することがあります。試験時間の詳細については、受験票発送時に通知します。

○実施内容

・グループディスカッション

試験当日に提示する課題について、複数名でグループを作り、ディスカッション (45 分程度) を行います。

・プレゼンテーション

研究計画及び履修計画について、1 人 5 分 (質疑応答を含めて 10 分程度) の発表を行います。

・面接

志望プログラムへの適性を問う内容について、10 分程度の個人面接を行います。

II 推薦入試

1. 募集人員

プログラム名	募集人員
	令和5年4月入学
グローバルSDGsプログラム	若干名

2. 出願資格

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 大学を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和5年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 令和5年3月31日現在で大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学環において認めた者

- (10) 大学卒業までに 16 年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって次の二つの条件を満たし、かつ本学環において、我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- a. 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね 1 年以上研究に従事した者及び令和 5 年 3 月 31 日までにおおむね 1 年以上研究に従事する見込みの者
 - b. 令和 5 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者
- (11) 本学環において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和 5 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

(注) 出願資格 (9), (10) 又は (11) により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査が必要となりますので、13 ページ「3. 出願資格認定申請について」を参照してください。

3. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、出身学校の学業成績証明書、推薦書及び面接（学力に関する口頭試問を含む）の結果を総合して行います。
- (2) 試験場所 富山大学五福キャンパス（富山市五福 3190）
試験場所の詳細は、受験票発送時に通知します。
- (3) 試験期日及び試験科目

期 日	時 間	試験科目等
令和 4 年 7 月 2 日（土）	9 : 3 0 ~	面 接 (学力に関する口頭試問を含む)

Ⅲ 一般入試

1. 募集人員

プログラム名	募集人員	
	A日程	
	令和4年10月入学	令和5年4月入学
グローバルSDGsプログラム	若干名	8人

2. 出願資格

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び入学希望月の前月末日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び入学希望月の前月末日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における16年の課程を修了した者及び入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学希望月の前月末日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学希望月の前月末日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 入学希望月の前月末日現在で大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学環に

において認められた者

(10) 大学卒業までに 16 年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって次の二つの条件を満たし、かつ本学環において、我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

a. 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね 1 年以上研究に従事した者及び入学希望月の前月末日までにおおむね 1 年以上研究に従事する見込みの者

b. 入学希望月の前月末日までに 22 歳に達する者

(11) 本学環において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学希望月の前月末日までに 22 歳に達する者

(注) 出願資格 (9), (10) 又は (11) により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査が必要となりますので、13 ページ「3. 出願資格認定申請について」を参照してください。

3. 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、出身学校の学業成績証明書、外部英語試験の結果及び口述試験（プレゼンテーションを含む）の結果を総合して行います。

(2) 試験場所 富山大学五福キャンパス（富山市五福 3190）

試験場所の詳細は、受験票発送時に通知します。

(3) 試験期日及び試験科目

期 日	時 間	試験科目等
令和 4 年 7 月 2 日（土）	9 : 3 0 ~	口述試験 (プレゼンテーションを含む)

IV 社会人特別入試

1. 募集人員

プログラム名	募集人員	
	A日程	
	令和4年10月入学	令和5年4月入学
グローバルSDGsプログラム	若干名	若干名

2. 出願資格

出願できる者は、入学希望月の前月末日までに、社会人の経験（大学その他の学校在学期間を除く）を1年以上有し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 本学環において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学希望月の前月末日までに22歳に達する者

(注) 出願資格(8)により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査が必要となりますので、13ページ「3. 出願資格認定申請について」を参照してください。

3. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、出身学校の学業成績証明書及び面接（学力に関する口頭試問を含む）の結果を総合して行います。
- (2) 試験場所 富山大学五福キャンパス（富山市五福 3190）
試験場所の詳細は、受験票発送時に通知します。
- (3) 試験期日及び試験科目

期 日	時 間	試験科目等
令和4年7月2日（土）	9：30～	面 接 (学力に関する口頭試問を含む)

共 通 事 項

1. 出 願 期 間

令和4年6月1日（水）～6月7日（火）午後4時までに必着とします。

原則、出願は郵送とし、上記期間までに必着とします。やむを得ず持参する場合は、午前9時から午後4時までの間、受け付けます。（土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。）期限後の提出は受理しません。

ただし、6月6日（月）以前の消印（日本国内の郵便の消印に限る。）のある書留速達郵便に限り、出願期間以降に到着した場合でも受理します。

なお、入学志願者は、志望するプログラム・教育分野の指導教員に必ず事前に相談してください。

2. 出 願 手 続

次の書類を取りそろえ、所定の期日までに下記あてに提出してください。

なお、郵送の場合は書留速達郵便又は国際エクスプレスメール「EMS」とし、封筒に「大学院持続可能社会創成学環入学願書在中」と朱書してください。

「提出先 〒930-8555

富山市五福 3190 富山大学理工系学務課（理学部事務室入試担当）」

電話 076-445-6546

出願書類等

書 類 等	摘 要
1 入学願書 (所定の用紙)	所要事項を記入し、試験区分を○で囲んでください。
2 写真票・受験票 (所定の用紙)	出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽、正面写し、縦4cm、横3cmの写真をはり付け、所要事項を記入してください。
3 入学検定料 (30,000円) ※必ず本学所定の台紙に 「収納証明書」をはり付 けて提出すること。	<p>入学検定料は、入学検定料支払手順（14ページ）に従って、入学検定料支払いサイトから支払手続を行ってください。</p> <p>入学検定料の支払方法は、日本国内の場合は、コンビニエンスストア、クレジットカード、ネットバンキング、ペイジー対応郵便局・銀行ATMのいずれかとなります。日本国外の場合は、クレジットカードでお支払いください。</p> <p>入学検定料の支払後、「収納証明書」を入学検定料支払いサイトからダウンロードして印刷し、「収納証明書貼り付け台紙」の所定欄に貼り付けてください。</p> <p>※国費留学生は、入学検定料の納入は不要です。</p> <p>入学検定料支払いサイト https://e-apply.jp/n/toyama-gs-payment/</p> <p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料のほか、手数料が別途必要です。 ・支払手続時に登録する「氏名」「住所」等は入学願書に記載した「氏名」「現住所」と同一にしてください。 ・出願期間の1週間前から入学検定料の支払手続が可能です。

4	卒業（見込）証明書	出身大学の学長又は学部長が作成したもの。なお、本学学部卒業見込者は提出する必要はありません。
5	学位授与証明書又は学位授与申請（予定）証明書	【出願資格（2）に該当する者のみ提出】 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行するもの、もしくは短期大学長又は高等専門学校長が発行する学位授与申請（予定）証明書
6	学業成績証明書	出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したもの。ただし、偽造・複写防止用紙使用の場合は厳封不要です。
7	受験票等送付用封筒（長形3号）	長形3号の封筒に郵便番号及びあて名を明記し、 <u>344円分</u> の郵便切手をはり付けてください。
8	TOEIC/TOEFLのスコアシートのコピー （※外国籍を有する者で、TOEIC/TOEFLを受験していない場合は、英語能力を示す他の検定等の結果（成績がわかるもの））	【一般入試志願者】 下記の①から④のいずれかのスコアシートのコピー（A4サイズ）を提出してください。ただし、複数のスコアシートを持っている場合は2部まで提出可とします。 （※外国籍を有する者で、TOEIC/TOEFLを受験していない場合は、英語能力を示す他の検定等の結果（成績がわかるもの）を提出してください。） ①TOEIC Listening & Reading の Official Score Certificate（公式認定証） ②TOEIC-IPのスコアレポート（個人成績表） ③TOEFL iBT の Test Taker (Examinee) Score Report ④TOEFL-ITPのスコアレポート なお、スコアシートは2019年4月1日以降のテストに対し発行されたものに限り、試験当日に原本確認を行うため、必ず持参してください。原本を持参しなかった場合、選抜の対象とはなりませんので注意してください。
9	推薦書（所定の用紙）	【推薦入試、社会人特別入試志願者】 出身大学の学長（学部長）、出身学校長又は指導教員が作成し、厳封したもの。官公庁、会社等に在職中の者は、所属長が作成し厳封したもの。
10	自己推薦書（所定の用紙）	【総合型入試志願者】 志願者本人が記入したもの。
11	志望理由書（所定の用紙）	志願者本人が記入したもの。
12	研究計画書（所定の用紙）	志願者本人が記入したもの。
13	誓約書（所定の用紙）	「外国為替及び外国貿易法」を遵守する誓約書の内容を確認し、出願者本人が自署し、必ず提出してください。
14	住民票の写し	【外国籍を有する者のみ】 現に日本国に在住している方は、市区町村長の発行したもの（在留資格が明示されているもの）を提出してください。

（注）英語以外の外国語で記載されたものについては、日本語訳又は英語訳を添付してください。

3. 出願資格認定申請について

総合型入試、推薦入試及び一般入試の出願資格（9）・（10）・（11）及び社会人特別入試の出願資格（8）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行いますので、下記に照会のうえ、期日までに所定の書類を提出してください。

【照会・提出先】

〒930 - 8555 富山市五福 3190

富山大学理工系学務課（理学部事務室入試担当） 076-445-6546

（1）出願資格審査に必要とする書類

- ① 出願資格審査申請書（本学所定の様式）
- ② 在学証明書又は卒業（修了）証明書
- ③ 学業成績証明書
- ④ 履歴書（本学所定の様式 ※外国人志願者のみ）
- ⑤ 長形3号の返信用封筒
(344円分の切手を貼付し、あて名、郵便番号を明記したもの)
- ⑥ その他必要とする書類

総合型入試、推薦入試及び一般入試の出願資格（9）の該当者

- ・推薦書（本学所定の様式）
- ・所属する学科等の教育課程表

総合型入試、推薦入試及び一般入試の出願資格（10）の該当者

- ・研究生、研究員等として従事したことを証明する書類

総合型入試、推薦入試及び一般入試の出願資格（11）及び社会人特別入試の出願資格（8）の該当者

- ・業績報告書（本学所定の様式）

※ 各証明書は、原本を提出してください。写しを提出された場合は受理しません。
外国語で記載されたものについては、日本語訳を添付してください。

（2）書類提出期限

令和4（2022）年5月18日（水）16時まで

原則、出願は郵送とし、上記期間までに必着とします。

やむを得ず持参する場合は、平日の9時から16時まで受け付けます。

期限後の提出は受理しません。

（3）審査結果の通知

事前審査の結果は、令和4（2022）年5月31日（火）までに本人宛に通知書を発送します。

4. 入学検定料の納付方法

入学検定料支払手順

※ご利用にあたってはメールアドレス・インターネット接続環境・プリンター（A4出力）が必要です



出願は学生募集要項に記載の必要書類と入学検定料収納証明書を併せて郵送して完了となります。入学検定料支払サイトから登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。



STEP 1 入学検定料支払サイトへアクセス

入学検定料支払サイト

▶ <https://e-apply.jp/n/toyama-gs-payment/> または、
大学ホームページ

▶ <https://www.u-toyama.ac.jp/admission/graduate-exam/graduate/>
からアクセス

STEP 2 支払内容の登録

- ①画面の手順や留意事項を必ず確認してください。
- ②入学検定料の支払方法を選択してください。
- ③画面に従って支払内容の選択、必要事項を入力してください。
支払いに必要な番号を控えてください。

STEP 3 入学検定料の支払い

【コンビニ・ペイジー対応銀行ATMで支払う場合】
コンビニ（セブン-イレブン、ローソン、ファミ
リーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、セ
イコーマート）・ペイジー対応銀行ATM・ネット
バンキング各種で入学検定料を払い込んでく
ださい。
※日本国内のみ利用可能

【クレジットカードで支払う場合】
お手元にクレジットカードのカード情報
をご準備の上、画面に従って入学検定料
をお支払ください。
（ご利用可能なクレジットカード）
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、
MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

※入学検定料の支払いには、別途手数料が必要です。

STEP 4 入学検定料「収納証明書」の印刷

入学検定料の支払完了後、「収納証明書」を入学検定料支払サイトから
ダウンロードして印刷し、本学所定の台紙にはり付けてください。

STEP 5 出願書類の提出

「収納証明書」及び他の出願書類と併せて出願期間内に届くように書留速達
郵便で送付してください。

※出願書類の郵送先は学生募集要項を参照してください。



●支払内容の登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので、誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払前で
あれば正しい内容で再登録することで、修正が可能です。

※「入学検定料の支払方法」でクレジットカードを選択した場合は、登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

5. 受験票の送付

受験票は、出願締切後に受験票送付用封筒記載の住所宛に郵送いたしますが、試験日の1週間前になっても受験票が届かない場合は、理工系学務課（理学部事務室入試担当）へ照会してください。

6. 合格者発表

以下の日時に、合格者の受験番号を富山大学ウェブサイトに掲載するとともに、本人に合格通知書を郵送します。

なお、電話その他による問い合わせには一切応じません。

発表日時 令和4年7月19日（火）15時

7. 入学手続

入学手続は次のとおり行いますが、詳細は合格者に通知します。

(1) 入学手続

（令和4年10月入学）令和4（2022）年9月16日（金）

（令和5年4月入学）令和5（2023）年3月8日（水）（予定）

(2) 入学手続時に要する経費

ア 入学料 282,000円（予定額）

上記の入学料は予定額であり、入学時に入学料を改定した場合は、新たな入学料を適用します。

また、納付された入学料は返還しません。

入学を辞退する場合は、必ず書面（任意様式）で手続をしてください。

イ その他

学生教育研究災害傷害保険等の経費が別途必要です。

(3) 入学手続期間内に手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。

(4) 授業料の納付について

入学後にそれぞれ口座振替により納付することとします。

納付金額・納付方法等の詳細については、入学手続時に通知します。

〈参考〉令和4（2022）年度授業料 年額 535,800円

(5) 入学料、授業料とも、以下の条件を満たす者には、選考の上、全額または半額の免除を認める制度があります。

① 経済的理由により納付が困難ながら、学業優秀と認められる者

② 学資負担者が死亡するか、風水害等の特別の事情により納付が著しく困難であると認められる者

(6) 奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、日本学生支援機構等から奨学金が貸与されます。

8. 注意事項

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- (2) 出願手続き後の願書等記載事項の変更は一切認めません。また、出願書類は、返却する旨を明示している場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 所定の試験を一部でも欠席した者は、入学者選抜の対象から除きます。
なお、受験の際は、必ず受験票を携帯してください。
- (4) 一旦、受領した検定料は、次の場合を除き、返還しません。

- ① 検定料を払い込んだが富山大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合 《返還額》 30,000 円
- ② 検定料を二重に払い込んだ場合 《返還額》 30,000 円
- ③ 検定料を多く払い込んだ場合 《返還額》 多く払い込んだ額
ただし、返還時の振込手数料は、受取人負担とします。

※ 返還請求の方法

「入学検定料返還請求書」（所定の様式）に必要事項を記入し、本学へ郵送してください。

なお、①及び②の場合は、必ず、「収納証明書」をはり付けてください。

「 送付先：〒930 - 8555 富山市五福 3190 富山大学財務部経理課
電話 076-445-6053 」

- (5) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

9. 安全保障輸出管理について

富山大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供、貨物の輸出の観点から、安全保障輸出管理について厳格な審査を行っています。規制されている事項に該当する場合は、入学を許可できない場合や希望する教育が受けられない、希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、出願にあたっては注意してください。詳細については、本学ウェブサイトを参照してください。

【参考】「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」

URL <http://www3.u-toyama.ac.jp/soumu/kisoku/pdf/0110401.pdf>

10. 障害を有する入学志願者の事前相談

障害を有する入学志願者は、受験及び修学の際に特別な配慮を希望する場合は、出願に先立ち、本学理工系学務課（理学部事務室入試担当）に相談してください。

なお、相談に際しては、下記事項を記載した書類及び医師の診断書の提出を求められます。

- ・障害の種類・程度
- ・受験の際に特別な配慮を希望する事項

- ・修学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・日常生活の状況，その他参考となる事項

相談期限 令和4年6月10日（金）

連絡先 〒930 - 8555 富山市五福 3190

富山大学理工系学務課（理学部事務室入試担当） 076-445-6546

11. 志願者の個人情報保護について

本学が保有する個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名，住所その他個人情報については，①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格発表，③入学手続，④入学者選抜方法等における調査・研究，⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 出願にあたって知り得た個人情報は，本学入学手続完了者についてのみ，入学後における①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，授業料免除・奨学金申請，就職支援等），③授業料徴収に関する業務，④統計調査及び分析を行うために利用します。
- (3) 本学合格者についての受験番号，氏名及び住所に限り，関係団体である同窓会及び生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。なお，これらの団体からの連絡を希望しない場合は，理工系学務課（理学部事務室入試担当）まで，その旨を申し出てください。
- (4) 各種業務での利用にあたっては，一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という）において行うことがあります。業務委託にあたり，受託業者に対して，委託した業務を遂行するために必要となる限度で，知り得た個人情報の全部又は一部を提供しますが，守秘義務を遵守するよう指導します。

12. 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例措置について

大学院設置基準第14条では、「教育上特別の必要があると認められる場合には，夜間その他特定の時間又は期間において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる」旨が規定されています。

これを踏まえ，本学環では，有職者が離職することなく修学できるよう所属先の勤務条件等を考慮し，時間割について，昼夜開講やその他の時間帯や時期等可能な範囲で相談に応じます。

新型コロナウイルス感染症対策に伴う入学志願者への要請事項

1 感染防止のための注意事項

日頃から感染防止について心がけるとともに、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認すること。

(参考) 受験生のみなさんへ ～新型コロナウイルス感染防止のための注意事項～

https://www.mext.go.jp/content/20201218-mext_daigakuc02-000005144_1.pdf



2 医療機関での受診

試験日の2週間程度前から、発熱・咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。

3 受験できない者

新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の方は受験できません。発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者*については、一定の条件のもと、受験できる場合がありますので、事前に連絡してください。

海外から日本に入国して受験する場合、入国後の待機期間中は受験できません。

*濃厚接触者とは、保健所より「濃厚接触者に該当する」と伝えられた方を指します。

4 試験当日における対応

- ・発熱・咳等の症状のある受験者は、試験当日の検温で、37.5度以上の熱がある場合は受験を取り止めてください。また、37.5度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受験者は、その旨を試験監督者等に申し出てください。
- ・症状の有無にかかわらず、各自マスク（白・淡色無地を推奨、何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、あらかじめ大学に相談すること）を持参し、試験場では、昼食時以外は常に着用し、休憩時間や昼食時、入退場時等における他者との接触、会話を極力控えてください。ただし、試験中の本人確認時等にマスクをはずすよう指示する場合があります。
- ・使用済マスク等を収納するビニール袋を必ず持参するようにしてください。
- ・本学では試験監督者及び試験場係員もマスクを着用します。

5 試験当日の服装，昼食

試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、気温に留意し、上着など暖かい服装を持参してください。また、試験場においては、食堂や売店は使用できないため、昼食を持参し、あらかじめ指定された時間内に自席で食事をとってください。

6 試験当日は各試験場に消毒液を設置しますので、試験室への入退室を行うごとに、各自手指消毒を行ってください。また、使用済マスクや鼻をかんだ後のティッシュ等は、必ずビニール袋に入れ密閉してゴミ箱に捨ててください。

7 予防接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことを推奨します。

8 「新しい生活様式」等の実践

日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。

9 3の受験できない者に該当する場合や試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合速やかに本学に連絡してください。また、試験終了後、14日以内に体調不良が認められた受験者は本学に連絡してください。

10 試験当日は、受験者控室及び付添者控室は設置しません。

11 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をダウンロードしておくことが望ましいです。

なお、アプリから通知を受けたことにより直ちに濃厚接触者であることを意味するものではありません。

富山大学大学院持続可能社会創成学環（修士課程）案内

1. 教育研究上の目的

持続可能社会創成学環は、持続可能な社会の構築に必要な理工学及び社会科学の学際的な理論及び学際的応用を教授研究し、その深奥を学び、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識、卓越した能力及び倫理観を培い、持続可能社会の構築に貢献する人材の育成を目的とします。

(1) 社会データサイエンスプログラム

人口減少超高齢化および地球温暖化、デジタルサイエンスの発展という時代背景のもと、データサイエンス、AIを活用して経済発展と社会的課題の解決を両立する「持続可能社会」を実現します。

(2) グローバルSDGsプログラム

国際的な広い観点から持続可能な社会の実現に必要なサステナビリティ学を学び、自然科学から社会科学に至る分野横断的なアプローチによって問題解決能力を身に付け、持続可能社会の構築・SDGsの達成に貢献できる人材を育成することを目的とします。

2. 教育課程の特色

本学環の教育課程の特色は、「持続可能社会」の実現に向けた課題解決ができる人材を養成することを目的として、現代社会が直面する課題に対して「地域」と「地球規模」の両方の視点から、文系、理系の広い分野の科目を開設することです。本学環は、主として、社会科学（経済学、経営学）及び理工学（環境科学、都市デザイン学）分野の教員から構成されており、「持続可能社会」の課題解決に際して、常に社会・環境・経済の視点から考えられるように授業科目を開設しています。

学生は、幅広い知識を身に付ける大学院共通科目、「持続可能社会」に関する幅広い知識や実践力を身に付ける学環共通科目、課題解決のために必要な専門的な知識や技術を身に付ける学環専門科目により、普遍的能力と専門的能力を身に付け、複数指導教員による多面的な視点による研究指導を受けます。

本学環では、学生自身が設定した課題に対して、分野横断的な学修を重視しています。そのため、講義や演習、実習による学修に重きを置いたカリキュラムを両プログラムに共通して設けています。特別研究に配分される時間が従来のカリキュラムに比べて少ないため、授業計画が設計しやすく、結果として社会人を対象とした学び直しのニーズにも対応可能です。グローバルSDGsプログラムにおいては、特別研究による学修を重視した従来型のカリキュラムも同時に用意しており、学生のニーズに応じて選択が可能なカリキュラム編成となっています。

3. 教員（専任）の研究指導内容一覧

（注）※印は令和6（2024）年3月退職予定の教員です。

社会データサイエンスプログラム

研究領域	教員氏名	研究指導内容
経済学	教授 唐渡 広志	経済統計学，計量経済学において，不動産価格指数分析，都市・地域経済分析，不動産市場分析についての研究指導を行う。
経済学	教授 中村 真由美	計量的社会調査法，質的社会調査法，調査データ解析において，少子化，コンパクトシティ施策評価，若者の地域定着などについて研究指導を行う。
経済学	教授 モヴシュク オレクサンダー	計量経済学において関連テーマについての研究指導を行う。
情報科学	教授 堀田 裕弘	情報通信工学，知覚情報処理，人間情報学，電力工学，森林科学において，スマートシティ実現に向けたデータ取得や分析に関する研究指導を行う。
情報科学	准教授 井ノ口 宗成	災害情報学，行動防災学，サービス情報学，システムデザイン学において，災害対応，避難行動計画等についての研究指導を行う。
情報科学	准教授 春木 孝之	情報科学，未病科学，プラズマ物理学において関連テーマについての研究指導を行う。
都市デザイン学	教授 堀 祐治	環境工学・設備工学において，建築と都市における評価，向上，循環型社会に向けた環境負荷削減，エネルギー消費削減と再生可能エネルギーへの転換等，都市と建築のデザインに関する研究指導を行う。
都市デザイン学	准教授 猪井 博登	土木計画学，交通工学，都市計画において，公共交通整備のインパクト評価や自動車から公共交通への行動変容に関する研究指導を行う。
都市デザイン学	准教授 安江 健一	地形学，地質学において，地域防災や教育観光についての研究指導を行う。

グローバルSDGsプログラム

研究領域	教員氏名	研究指導内容
分析化学	教授 倉光 英樹	環境化学および分析化学的な研究においてSDGsに関連した課題を取り上げ、新規センサーや分析法の開発とそれらを利用した環境計測に関する研究を指導する。
地球化学	教授 張 勁	化学海洋学と環境地球化学においてSDGsに関連した課題を取り上げ、必要な学術情報の収集とその理解、調査研究手法に関する研究指導を行う。
地球化学	教授 堀川 恵司	環境地球科学においてSDGsに関連した課題を取り上げ、必要な学術情報の収集とその理解、調査研究手法に関する研究指導を行う。
生態学	教授 和田 直也	生態学および環境保全科学においてSDGsに関連した課題を取り上げ、必要な学術情報の収集とその理解、調査研究手法に関する研究指導を行う。
害虫管理学	准教授 土田 努	生物間相互作用や内部共生現象を対象として、総合病害虫管理や生物遺伝資源利用に資する課題の指導を行う。
環境物理学	准教授 榎本 勝成	レーザー分光の技術を用い、大気汚染物質や重金属含有分子などの特徴や反応素過程の調査や、環境モニタリング技術の開発についての研究指導を行う。
経済学	教授 中村 和之※	財政学および公共経済学分野におけるSDGsに関連した課題を取り上げ、必要な文献収集とその理解、研究手法に関する研究指導を行う。
経済学	教授 龍 世祥	人間・経済・自然の循環システムを視野とする環境産業論研究および環境経済学研究においてSDGsに関連した課題を取り上げ、必要な学術情報の収集とその理解、論証的・実証的な研究手法に関する研究指導を行う。
地域研究	教授 堀江 典生	移民研究および境界研究においてSDGsに関連した課題を取り上げ、必要な学術情報の収集とその理解、調査研究手法に関する研究指導を行う。
経営学	教授 馬 駿	組織と人材のマネジメント、および人材開発政策において、SDGsに関連した課題を取り上げ、必要な学術情報の収集とその理解、調査研究手法に関する研究指導を行う。
国際関係論	准教授 池田 文佑	世界政治学、グローバル倫理学、教育学が交錯する視点からSDGsに関連する課題を取り上げ、実証的・規範的な学術情報の収集と分析、理論構築ならびに事例研究に関する方法的内容的な研究指導を行う。
法政策学	准教授 神山 智美	環境法研究および環境政策研究においてSDGsに関連した課題を取り上げ、必要な学術情報の収集とその理解、調査研究手法に関する研究指導を行う。

4. 授業科目及び単位数

科目区分	授 業 科 目	開 設 単 位	備 考	
大学院共通科目	○研究倫理	1	○印は必修科目	
	○科学技術と持続可能社会	1		
	地域共生社会特論	1		
	研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用	1		
	アート・デザイン思考	1		
	英語論文作成 I	1		
	英語論文作成 II	1		
	データサイエンス特論	1		
	大学院生のためのキャリア形成 知的財産法	1		
学環共通科目	○持続可能社会創成学概論	1	○印は必修科目	
	文化の多様性と持続可能社会	1		
	サステナビリティ環境科学	1		
	サステナビリティ国際政治経済学	1		
	デザイン思考	1		
	アントレプレナーシップ論	1		
	インターンシップ	1		
学環専門科目（社会データサイエンスプログラム）	基盤科目	○線形代数特論	1	○印は必修科目
		○数理統計学特論 I	1	
		○数理統計学特論 II	1	
		○情報科学特論	1	
		○サイバーフィジカルシステム特論	1	
		○情報センシング特論	1	
	実践科目	最適化問題特論	1	
		時系列解析特論	1	
		確率過程特論	1	
		機械学習特論 I	1	
		機械学習特論 II	1	
		空間統計特論 I	1	
		空間統計特論 II	1	
		テキストマイニング特論	1	
		計量経済学特論 I	1	
		計量経済学特論 II	1	
		社会データサイエンス特論演習 A	1	
		社会データサイエンス特論演習 B	1	
	ドメイン科目	【都市デザイン学系】		
		都市・地域計画特論	1	
		持続可能な社会に資する交通特論	1	
		自然災害学特論	1	
		災害情報学特論	1	
		数値シミュレーション特論	1	
		都市・建築環境特論 I	1	
		都市・建築環境特論 II	1	
		都市・建築設備特論 I	1	
		都市・建築設備特論 II	1	
		【社会科学系】		
		地域社会学特論 I	1	
地域社会学特論 II	1			
経営学特論 I	1			
経営学特論 II	1			
現代経済理論特論 I	1			
現代経済理論特論 II	1			
応用計量経済学特論 I	1			
応用計量経済学特論 II	1			

科目区分		授 業 科 目	開 設 単 位	備 考
学環専門科目 （社会データサイエンスプログラム）	ドメイン科目	金融の計量経済分析特論Ⅰ	1	
		金融の計量経済分析特論Ⅱ	1	
		数理計画法特論Ⅰ	1	
		数理計画法特論Ⅱ	1	
		財政学特論Ⅰ	1	
		財政学特論Ⅱ	1	
		社会調査法特論Ⅰ	1	
		社会調査法特論Ⅱ	1	
		オペレーションズ・リサーチ特論Ⅰ	1	
		オペレーションズ・リサーチ特論Ⅱ	1	
		特別研究	○社会データサイエンス特別演習Ⅰ	1
○社会データサイエンス特別演習Ⅱ	1			
○社会データサイエンス特別研究Ⅰ	1			
○社会データサイエンス特別研究Ⅱ	1			
基盤科目	○サステナビリティ環境理学基礎	1	○印は必修科目	
	○サステナビリティ経済学基礎	1		
	○アカデミックライティング・コミュニケーション特論	1		
	○サステナビリティデータ解析・GIS演習	1		
学環専門科目 （グローバルSDGsプログラム）	実践科目	持続可能性・政治・法律	1	◎は選択必修科目 （実践科目のうち◎から1単位以上選択）
		サステナビリティ法政策学	1	
		移民研究特論	1	
		境界研究特論	1	
		経営学特論Ⅰ	1	
		経営学特論Ⅱ	1	
		グローバリゼーション特論Ⅰ	1	
		グローバリゼーション特論Ⅱ	1	
		財政学特論Ⅰ	1	
		財政学特論Ⅱ	1	
		国際私法特論Ⅰ	1	
		環境産業特論Ⅰ	1	
		環境産業特論Ⅱ	1	
		気候変動解析学	1	
		水環境計測特論Ⅰ	1	
		水環境計測特論Ⅱ	1	
		水環境計測特論Ⅲ	1	
		水環境計測特論Ⅳ	1	
		化学海洋学	1	
		火山地震化学	1	
		サステナビリティ物理学特論：エネルギーと計測技術	1	
		植物生態学特論	1	
		保全生物学特論	1	
		植物生産学特論	1	
		総合病害虫管理学	1	
		◎グローバルSDGs海外実践実習	2	
		◎グローバルSDGs海外英語実習	2	
		◎高低差4000mの共生社会実習	1	
		◎短期SDGsインターンシップ	1	
		環境法ゼミナール	1	
		国際環境法ゼミナール	1	
		環境政策学ゼミナール	1	
		産業法・特許制度ゼミナール	1	
		移民研究ゼミナールⅠ	1	
		移民研究ゼミナールⅡ	1	
		境界研究ゼミナールⅠ	1	
境界研究ゼミナールⅡ	1			
財政学ゼミナールⅠ	1			
財政学ゼミナールⅡ	1			

科目区分	授 業 科 目	開 設 単 位	備 考		
学環専門科目(グローバルSDGsプログラム)	実践科目	公共経済学ゼミナールⅠ	1		
		公共経済学ゼミナールⅡ	1		
		環境産業ゼミナールⅠ	1		
		環境産業ゼミナールⅡ	1		
		環境経済学ゼミナールⅠ	1		
		環境経済学ゼミナールⅡ	1		
		組織と人材のマネジメントゼミナールⅠ	1		
		組織と人材のマネジメントゼミナールⅡ	1		
		人材開発政策ゼミナールⅠ	1		
		人材開発政策ゼミナールⅡ	1		
		国際政治学ゼミナール	1		
		グローバル政治経済学ゼミナール	1		
		地球市民社会ゼミナール	1		
		グローバリゼーションゼミナール	1		
		気候変動解析学ゼミナールⅠ	1		
		気候変動解析学ゼミナールⅡ	1		
		同位体地球化学ゼミナールⅠ	1		
		同位体地球化学ゼミナールⅡ	1		
		環境化学計測ゼミナールⅠ	1		
		環境化学計測ゼミナールⅡ	1		
		水処理化学ゼミナールⅠ	1		
		水処理化学ゼミナールⅡ	1		
		水環境計測ゼミナールⅠ	1		
		水環境計測ゼミナールⅡ	1		
		土壌環境計測ゼミナールⅠ	1		
		土壌環境計測ゼミナールⅡ	1		
		化学海洋学ゼミナールⅠ	1		
		化学海洋学ゼミナールⅡ	1		
		水圏化学ゼミナールⅠ	1		
		水圏化学ゼミナールⅡ	1		
		環境物理学ゼミナールⅠ	1		
		環境物理学ゼミナールⅡ	1		
		量子エレクトロニクスゼミナールⅠ	1		
		量子エレクトロニクスゼミナールⅡ	1		
		植物生態学ゼミナール	1		
		森林生態管理学ゼミナール	1		
		高山生態学ゼミナール	1		
		保全生物学ゼミナール	1		
		作物遺伝学ゼミナールⅠ	1		
		作物遺伝学ゼミナールⅡ	1		
		植物分子遺伝学ゼミナールⅠ	1		
		植物分子遺伝学ゼミナールⅡ	1		
		共生機能科学ゼミナールⅠ	1		
		共生機能科学ゼミナールⅡ	1		
		総合病害虫管理学ゼミナールⅠ	1		
		総合病害虫管理学ゼミナールⅡ	1		
		特別研究	◎先端研究トラック		
			サステナビリティ先端研究Ⅰ	2	◎は選択必修科目 (先端研究トラック又は実践研究トラックのいずれかを選択)
	サステナビリティ先端研究Ⅱ		2		
	サステナビリティ先端研究Ⅲ		2		
	サステナビリティ先端研究Ⅳ		2		
サステナビリティ先端研究Ⅴ	2				
◎実践研究トラック					
サステナビリティ実践研究Ⅰ	2				
サステナビリティ実践研究Ⅱ	2				

5. 修了の要件

本学大学院持続可能社会創成学環修士課程に2年以上在学し、各プログラム所定の科目を30単位以上修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修士の学位が授与されます。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとします。

各プログラムで授与される学位は次のとおりです。

(授与される学位)

社会データサイエンスプログラム	修士（学術）
グローバルSDGsプログラム	修士（サステイナビリティ学）

6. 長期履修制度

長期履修制度とは、職業（常勤）等を有している等の理由により、授業や研究指導の履修時間が制約され、標準修業年限では修了が困難な方のために、標準修業年限を超えた一定の期間にわたって計画的に教育課程を履修して修了する制度です。本修士課程では最長4年までの在学期間を認めています。

入学時に許可されれば、標準修業年限（2年）において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うこととなります。

※ 申請方法等は、入学手続き書類郵送時にお知らせします。

申請しても許可されない場合もありますので、ご承知おきください。